

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐阜城北高等学校 学校運営協議会（第1回）
- 2 開催日時 令和6年5月31日（金） 13:30～15:30
- 3 開催場所 岐阜城北高等学校 会議室
- 4 参加者

会長	神谷 政人	岩野田まちづくり協議会	事務局員
副会長	河野 隆	はなぞの北幼稚園	園長
委員	菊池 啓子	中部学院大学短期大学部	教授
	前田 吉彦	岐阜北ロータリークラブ	
	福田 健二	三田洞地区自治会長	
	中村 有希	ファッションデザイナー	
	後藤 美雪	本校PTA副会長	
学校側	和田 摂子	校長	
	田内 俊文	教頭	
	柴田 幸美	教頭	
	高井 和子	事務長	
	車戸 祐介	教務主任	
	福島 和世	生徒指導部長	
	井口 貢志	進路指導部長	
	杉山 貴大	総合学科長	
	杉山 福美	生活デザイン科長	

5 会議の概要（協議事項）

(1) 教育指導の重点及び学校運営計画、スクールミッションについて

- ・教育目標及び3つの方針（スクール・ポリシー）について
- ・スクールミッションの策定について
- ・教育指導の重点（学校課題と令和6年度の取組について）

学習指導

生徒指導

進路指導

総合学科

生活デザイン科

(2) 意見

意見1：以前は、生徒の能力をテストの点数のみで評価していたが、現在は数字で表すことのできない能力（非認知能力）についても評価されるようになった。非認知能力の基礎能力は幼児の頃に培われると言われる。幼稚園教諭や保育士は人材不足であるため、岐阜城北高校は保育士を目指す生徒も多くいることから、是非その方面に進んでもらえるとよい。

意見2：大学入試も昨今は評価が多様化している。高校もどのように指導をしたらよいか迷うところであるが、基本的なこと（挨拶、言葉遣い、対人関係等）ができる人間の力が望まれる。多くの大人力を借りて、望ましくないところを正すことが必要である。

意見3：学校の魅力をPRするには、本人はもちろんであるが保護者へのPRが必要である。安心して子どもを預けられる学校であれば、保護者から本人へのアドバイスもあり入学希望者も増えるのではないか。保護者と子どもを分けて、説明会などを実施してみてもどうか。

意見4：生きる力、人間力は、どのようなところで育成するのかを考えると、やはり人との関わりの中で育成される。学校行事や地域行事への参加で、異年齢の人、様々な立場の人など、多くの人との関わりの中で、考え方、ものの捉え方、表現の仕方等を知り、経験を積み重ねて人としての幅が広がる。

意見5：価値観は自由であるが、果たさなければならない義務をおろそかにし、権利ばかりを主張する風潮など、権利と義務のバランスが悪い。好きなことだけを自由にできる環境ばかりではないことを、学生の時に理解しておかなければ、将来困ることになるのではないか。

意見6：本校の卒業生が教える機会はあるのか。いつも一緒にいる先生が言うのでは、マンネリ化してしまい、心に響かないこともある。卒業生の先輩から話をしてもらおうとよい。
⇒ 本校の卒業生で、若くして会社を経営している先輩から話を聞く機会を、6月の中旬に設けている。高校から現在に至るまでの経験や志すべきことなど、講話をしてもらおう予定となっている。

意見7：本学ではこの地域で育った子どもは、地域へ返すことを目指して教育をしている。地域との関わりを多くもち、地域の方の力を借り、協働して子どもたちを育成したい。

意見8：自己肯定感が低い生徒がわりと多いような気がする。そういう生徒のフォローアップをお願いしたい。

6 会議のまとめ

- ・第1回学校運営協議会において、全委員より今年度の本校の教育指導の重点及び学校経営計画を踏まえた基本方針について承認が得られた。
- ・第2回では、スクールミッションの提案を行い、「生徒及び保護者を対象とするアンケート」の結果や実際に授業を参観したうえで意見、助言等を得る予定である。